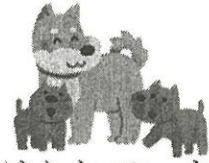


～犬と猫の飼い方・接し方～

犬について



犬の登録と年に1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられています。必ず行いましょう。

道路や私有地などを糞尿で汚し、迷惑をかけることは禁止されています。散歩の際にはスコップやビニール袋、水を用意し、糞は必ず持ち帰り、尿は水で流しましょう。排泄を自宅で行うようしつけることも効果的です。

人が犬にかまれる事故が発生しています。犬は来訪者の届かない場所につないで飼いましょう。また、門や玄関から飛び出さないように注意しましょう。

犬の散歩は制御できる人が短い引き綱で行いましょう。公園等であっても犬の放し飼いはしてはいけません。

猫について



猫は放し飼いにせず、できるだけ室内で飼うように努めましょう。

野良猫に無闇に餌を与えるのはやめましょう。餌を与えた結果望まれない命が増え、糞尿被害など地域で大きな問題となっています。餌を与えるなら近所に理解を得たうえで、責任を持って世話をしましょう。

望まれない命を増やさないためには、猫に不妊・去勢手術を行うことが効果的です。

災害時の備え

災害時にペットが逃げ出してしまった時のために迷子札、犬鑑札、マイクロチップ等をつけましょう。

排泄やケージでの移動に慣らす等のしつけと、日々の健康管理に努めましょう。

ケージやフード、ペットシート、水等を備蓄し災害に備えましょう。

災害時には一部の避難所でペットの同行避難（避難所までの避難行動）ができます。避難所の居住スペースでは、原則としてペットと同居はできません。避難後は、避難所敷地内の指定された場所で、ケージに入れて、飼育していただきます。